

富山県魚津市における水力発電所の開発について

平成23年11月30日
北陸電力株式会社

当社は、このたび、魚津市片貝川上流の三ヶ地内において、新規の水力発電所（「片貝別又発電所」）を開発することとしましたのでお知らせいたします。

当社は、低炭素社会実現に向けた電気事業者としての社会的責務を果たすため、水力や風力、木質バイオマス、太陽光などの再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでおります。

その一環として、平成21年10月より片貝川上流の三ヶ地内において水力発電所開発に係る環境・土木調査を実施しておりましたが、本日、その結果を踏まえ、魚津市および地元の三ヶ地区に建設の申入れをすることといたしました。

今後は、地域の皆様をはじめとする関係各位のご理解・ご協力をいただきながら、開発計画を進めてまいります。

なお、運転開始は平成28年度の予定であり、当社グループとしては、水路式の新規水力地点の開発は、平成元年に運転開始した片貝南又発電所(出力5,000kW：日本海発電)以来、27年ぶりとなります。

< 開発計画の概要 >

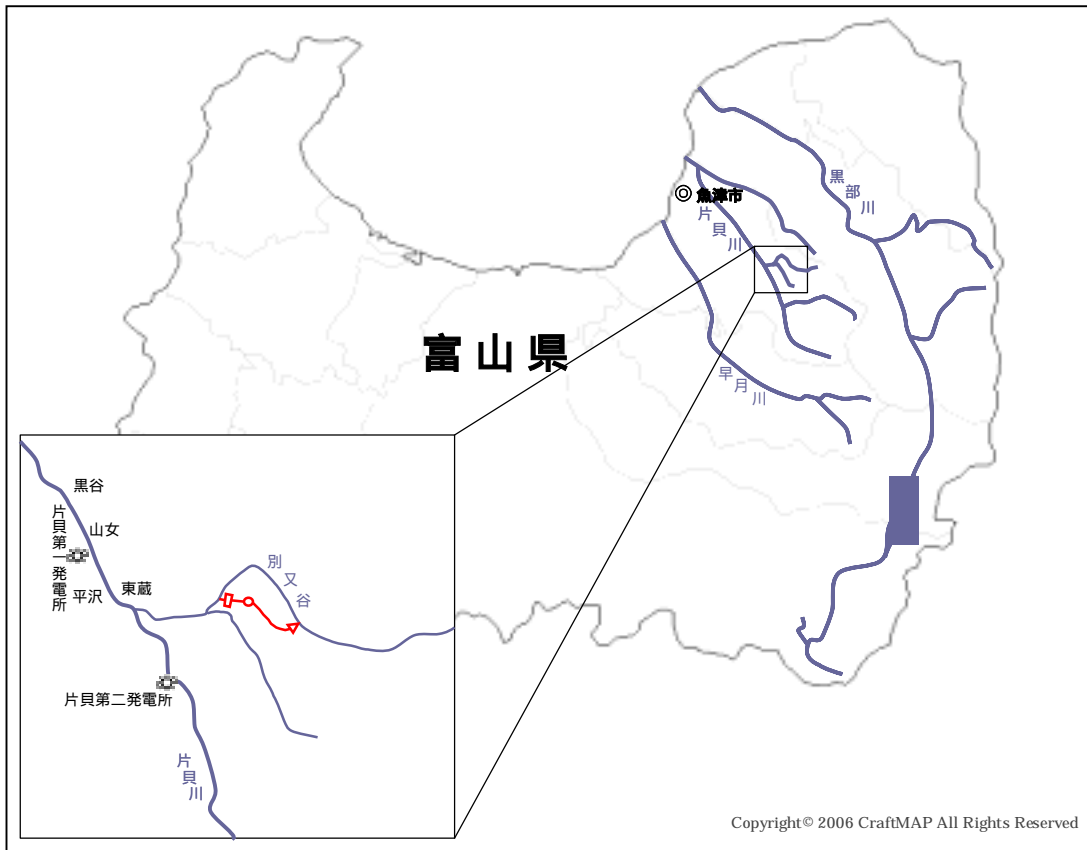
名称	かたかいべつまた 片貝別又発電所
所在地	あけび 富山県魚津市山女字別又
発電所出力	4,400kW
発電電力量	約1,700万kWh/年 (一般家庭約4,700世帯の年間使用電力量に相当)
発電方式	水路式
CO ₂ 削減量	約5,200t-CO ₂ /年
着工時期	平成26年度
運転開始時期	平成28年度

以上

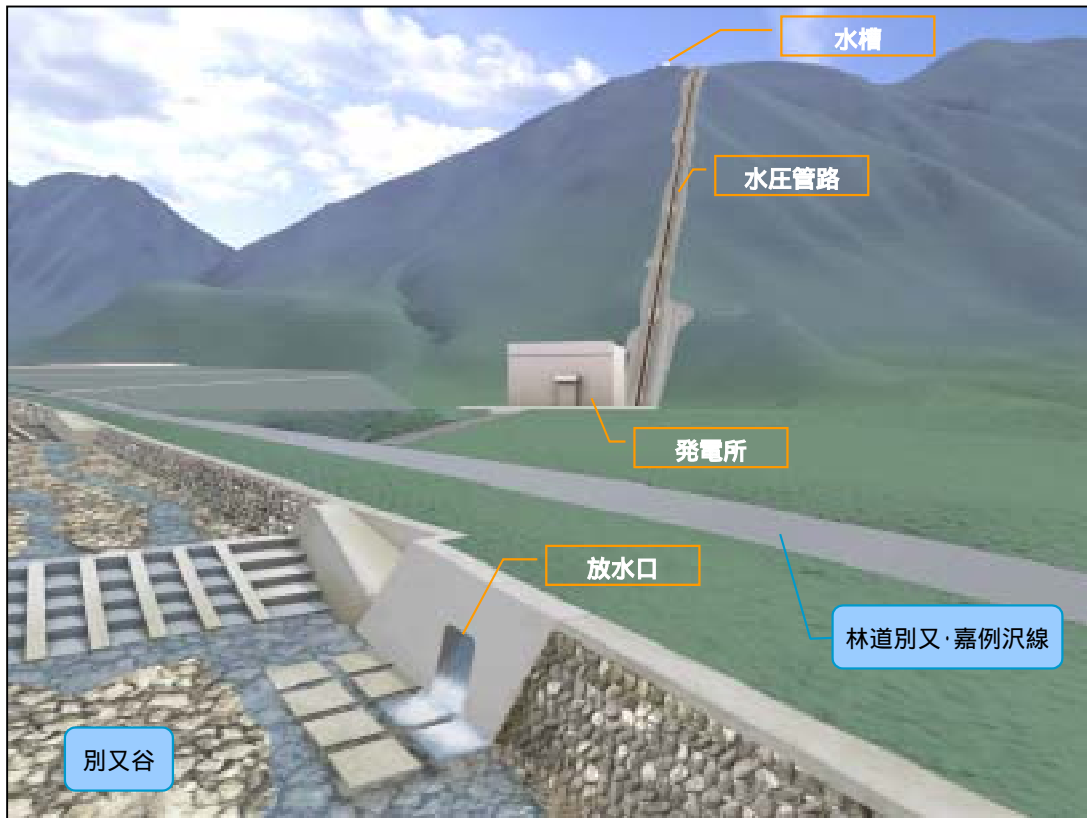
別紙1：片貝別又発電所の位置図・イメージ図

別紙2：当社グループの水力発電の状況について

片貝別又発電所 位置図



片貝別又発電所 イメージ図



当社グループの水力発電の状況について

1. 設備の現状

	北陸電力	日本海発電	グループ計
発電所数	128 箇所	6 箇所	134 箇所
発電所出力	190.4 万 kW	2.9 万 kW	193.3 万 kW
発電電力量(2010 年度実績)	62 億 kWh	1 億 kWh	63 億 kWh

2. 至近の開発実績(平成元年以降)

発電所名	発電出力	発電方式	運転開始	開発者	備考
片貝南又	5,000kW	水路式	平成元年	日本海発電	新規地点の開発
朝日小川第二	14,200kW	ダム水路式	平成 2 年	北陸電力	ダム開発への発電参加
黒西第一～第三	10,300kW	水路式	平成 4 年	北陸電力	再開発
黒東第一～第三	22,900kW	水路式	平成 5 年	北陸電力	再開発
新薬師	5,000kW	水路式	平成 7 年	日本海発電	再開発
新熊野川	5,000kW	水路式	平成13年	日本海発電	再開発
久婦須川	3,100kW	ダム式	平成14年	日本海発電	ダム開発への発電参加
仏原ダム	220kW	ダム式	平成22年	北陸電力	河川維持放流水利用
有峰ダム	170kW	ダム式	平成23年	北陸電力	河川維持放流水利用

発電方式

- 水路式……………河川に設けた小規模な堰堤^{えんてい}より取水し、水路により落差が得られるところまで水を導き、発電する方式
- ダム式……………河川にダムを設け、これによって落差を得る方式
- ダム水路式…水路式とダム式の2方式を併用したもので、ダムによって作られた落差と水路によって得られる落差をあわせて利用する方式

3. 電源構成比(2010 年度実績)

(%)

	水力	火力		原子力	新工ネ	計	
		石炭	石油				
年度末設備構成比	28	48	32	16	24	-	100
発電電力量構成比	24	47	44	3	28	1	100

以上